

桜井市市長
松井 正剛 殿

桜井市高齢者総合福祉センター「竜吟荘」の 廃止をされた巡回バスの再運行を求める要望書

〔要望趣旨〕

２００９（平成２１）年４月より市の財政難を理由に、第２次行政改革の実施項目の一つとして、「竜吟荘」の浴場施設の利用の休止と「竜吟荘」行きの２台の巡回バスが廃止をされました。浴場施設の利用の休止と巡回バスが廃止される前の施設の利用者は、一日当たり平均２１１人でしたが、２０１２（平成２４）年度は３１人に激減しました。

施設の利用者が減った原因は、浴場施設の休止とともに、巡回バスが廃止をされて竜吟荘へ行きづらくなったことに大きな原因があります。

近年、急速（きゅうそく）な高齢化がすすむなか、高齢者が生きがいをもち健康増進と維持をはかり、安心して老後を過ごしていくうえで、「竜吟荘」の果たす役割は大変大きなものがあります。

２０１４（平成２６）年４月から浴場施設は利用料金２００円で再開されるようになりました。また、竜吟荘へ行くのに桜井駅から出ているコミュニティバスが片道１００（往復２００）円で利用できるようになりましたが、市街に居住している高齢者は桜井駅に行くのに別の公共交通を利用しなければならず不便なうえ費用負担もさらに増えます。

よって、廃止をされた巡回バスの再運行をおこなっていただくよう要望をするものです。

記

〔要望項目〕

○桜井市高齢者総合福祉センター（竜吟荘）の廃止をされた巡回バスの再運行をおこなってください。

| 氏 名 | 住 所 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |